

令和5年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

商 業

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから7ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）では、教科「商業」科目「ビジネス・コミュニケーション」の目標及び内容について、次のように示されている。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

第4 ビジネス・コミュニケーション

1 目標

商業の（a）・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて（b）に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として（c）な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに（d）かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 内容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

- (1) ビジネスとコミュニケーション
 - ア 意思決定と組織の構成者としての行動
 - イ 人的ネットワークの構築
- (2) ビジネスマナー
 - ア 対応に関するビジネスマナー
 - イ 交際に関するビジネスマナー
 - ウ 接客に関するビジネスマナー
- (3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション
 - ア 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
 - イ ビジネスにおける思考の方法
 - ウ ビジネスにおけるコミュニケーション
- (4) ビジネスと外国語
 - ア 企業活動のグローバル化
 - イ 文化と商慣習
 - ウ ビジネスの会話
 - エ ビジネスの文書と電子メール
 - オ ビジネスにおけるプレゼンテーション

(1) （a）～（d）に当てはまる語句を答えよ。

(2) 本科目の学習を通して生徒が身に付けたコミュニケーションに関する知識、技術などを、ビジネスの場面に即して適切に実践できるようにするために、どのような機会を設けることが考えられるか答えよ。

(3) 指導項目「(4) ビジネスと外国語」の「ウ」から「オ」までについては、英語を原則とするが、生徒や地域の実態に応じて適切な外国語を扱うことができる。その理由を答えよ。

2 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）第3章第3節第3款「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」からの抜粋である。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) ビジネスに関する課題について、協働して分析、考察、討論を行い、解決策を考案し地域や産業界等に提案するなど言語活動の充実を図ること。

(2) コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を図り、学習の効果を高めるよう工夫すること。

(1) 言語活動の充実を図ることに配慮する理由を答えよ。

(2) 学習の効果を高めるための工夫として、情報の収集・分析、他の学校や地域との情報交換、研究成果の発表などの学習活動において、コンピュータや情報通信ネットワークなどのICTを積極的に活用することが考えられる。その際、情報モラルを育成するために、どのようなことに留意させる必要があるか答えよ。

3 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 予定売価¥120,000のパソコンを、予定売価の8割で販売した。実売価はいくらか答えよ。

(2) 株式を次のとおり購入した。支払総額はいくらか答えよ。

約定値段	株数	手数料
1株につき¥600	200株	約定代金の0.5% + ¥1,000

(3) \$700を日本円に換算すると¥84,000であるとき、\$1あたり日本円でいくらか答えよ。ただし、手数料は考えないものとする。

(4) 元金¥200,000を年利率2%で6か月間借りると、元利合計はいくらか答えよ。

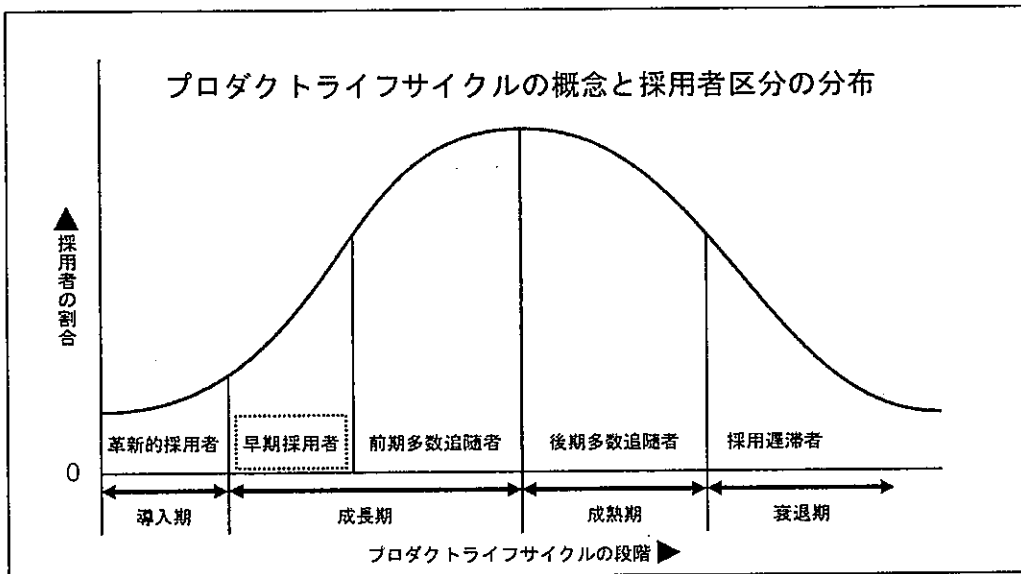
4 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 現代市場において、市場に商品があふれ、消費者には幅広い選択権が与えられており、買い手優位の状況が当たり前となっていることを何市場というか答えよ。

(2) 訪問販売によって売買契約を締結した消費者が、書面を受け取った日から8日間は無条件で契約を解除することができる制度を何というか答えよ。

(3) 次の図は、プロダクトライフサイクルの概念と採用者区分の分布を示したものである。この中の早期採用者とは何か説明せよ。

図



5 次の(1)～(5)の文中の(ア)～(コ)に当てはまる語句を答えなさい。

(1) 商品売買に関する取引について、売価を仕入原価の部分と商品売買益の部分とに分けて記帳する方法を(ア)という。一方、商品売買に関する取引を仕入勘定(費用の勘定)、売上勘定(収益の勘定)、繰越商品勘定(資産の勘定)の3つの勘定に分けて記帳する方法を(イ)という。

(2) 商品の仕入代金を支払ったり、売上代金を回収したりするための手段として、手形を用いることがある。手形には法律上、(ウ)手形と(エ)手形の2種類がある。また、手形の所持人が、満期日前に資金を必要とする場合、所有する手形に裏書きしてその手形を取引銀行などに売却することができるが、これを手形の(オ)という。

(3) 音声・画像の認識や、推理にもとづく判断などの人間に近い処理能力をコンピュータに持たせようとする技術を総称して(カ)と呼ぶ。(カ)の機能がさらに進化すると、2045年頃には人間の知能を上回る日が来るという予測もある。また、高速なインターネットの普及や、制御用コンピュータの普及などにより、従来は接続されていなかったさまざまなモノが、ネットワークを通じて相互に情報を交換して動作する仕組みが進展しており、これらは(キ)と呼ばれている。

(4) 電子メールの作成や送受信などを行うソフトウェアを片仮名3文字で(ク)という。また、電子メールには、同じメールを同時に複数の相手に送るための同報通信の機能があり、同時に送られているメールアドレスを受信者が見ることができるCCと、同時に送られているメールアドレスを受信者が見ることができない(ケ)がある。

(5) 言語や国籍、年齢、性別、障がいの有無を問わず利用できるデザインのことを(コ)という。

6 次の表は、4社の流動資産、流動負債、当期純利益、総資本を示したものである。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

表

(単位：円)

	A社	B社	C社	D社
流動資産	25,200,000	22,770,000	9,720,000	23,400,000
流動負債	12,000,000	11,000,000	10,800,000	13,000,000
当期純利益	(ア)	2,320,000	2,500,000	2,160,000
総資本	51,000,000	58,000,000	50,000,000	36,000,000

(1) 表中の(ア)に当てはまる金額を答えよ。なお、同社の総資本利益率は3%である。

(2) B社の流動比率(%)を求めよ。

(3) 流動負債と固定負債とは何か、それぞれ説明せよ。

(4) 4社のうち、総資本の収益性が最も高いと分析できる企業名とその理由を答えよ。

7 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 総合原価計算とはどのようなものか、説明せよ。

(2) 次の資料から、等級別総合原価計算表の(ア)～(エ)に当てはまる金額や数値を答えよ。ただし、等価係数は、製品1個あたりの重量を基準として定める。

【資料】

- ① 月初仕掛品原価 ¥1,000
- ② 当月製造費用 ¥1,200 (内訳：材料費 ¥500 労務費 ¥600 経費 ¥100)
- ③ 月末仕掛品原価 ¥800
- ④ 完成品数量及び製品1個の重量

製品	製品1個の重量	完成品数量
1級製品	800g	20個
2級製品	600g	10個
3級製品	200g	30個

等級別総合原価計算表

令和〇年6月分

等級別製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	等級別製造原価	製品単価
1級製品	800g	4	20個	(イ)	※※	¥40
2級製品	600g	(ア)	10個	30	300	(エ)
3級製品	200g	1	30個	※※	(ウ)	¥10
				140	1,400	

(注) ※※印は、金額や数値の表記を省略している。

(3) 個別原価計算を採用しているE製作所は、月末に工場の建物に対する減価償却費の月割額を消費高として計上した。ただし、1年分の減価償却費は¥240,000である。この取引の仕訳をせよ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

【勘定科目】

製造	製造間接費	減価償却費	減価償却累計額
----	-------	-------	---------

8 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 売買目的で保有しているF商事株式会社の額面¥2,000,000(帳簿価額¥1,800,000)の社債を額面¥100につき¥99で売却し、代金は小切手で受け取った。このときの仕訳をせよ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

【勘定科目】

現金	当座預金	売買目的有価証券	有価証券売却益	有価証券売却損
----	------	----------	---------	---------

(2) 次の資料から(ア)～(ウ)に当てはまる勘定科目や金額を答えよ。

資 料		
①	6月10日に事業主が、原価¥2,000の商品を私用のため消費した。	
②	7月20日に事業主が、店の現金¥40,000を私用のため引き出した。	
③	12月31日決算にあたり、引出金勘定残高¥42,000を資本金勘定に振り替えた。	

引 出 金					
6/10	※※	(ア)	12/31	※※	※※
7/20	(イ)	40,000			
資 本 金					
12/31	※※	(ウ)			

(注) ※※印は、勘定科目や金額の表記を省略している。

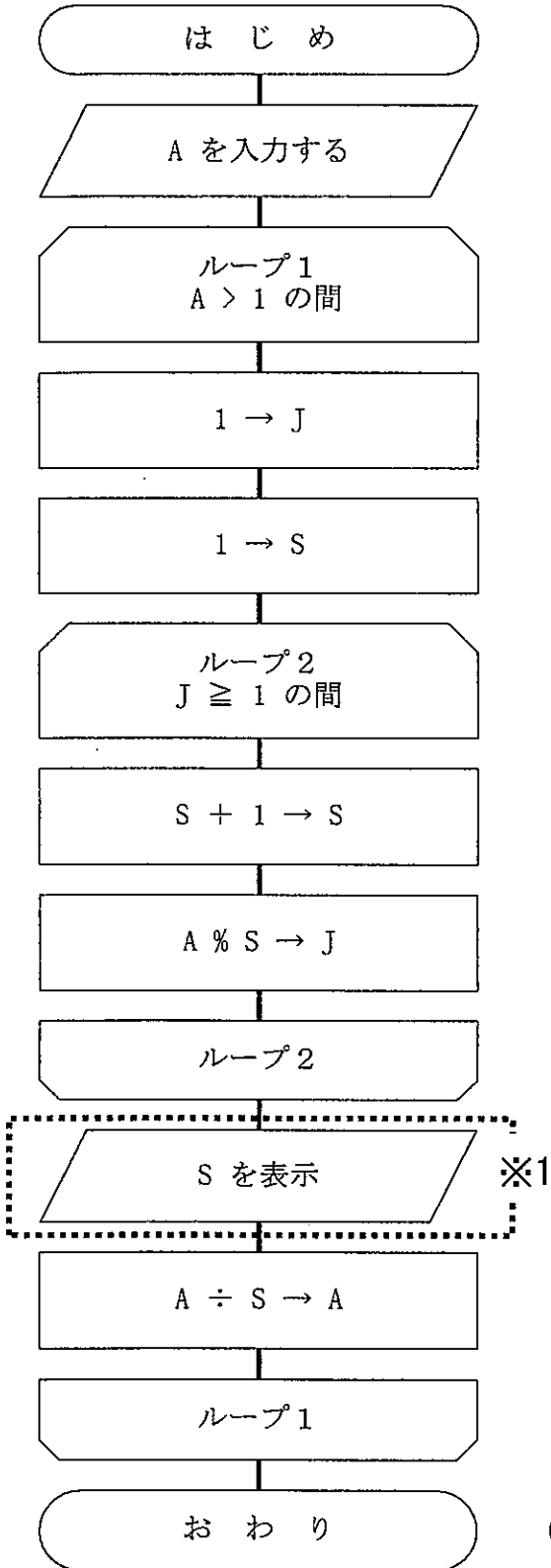
(3) 収益の見越しについて、次の取引を基に、図と勘定口座(T字形)を用いて説明するための板書例を作成せよ。

3月1日	得意先と営業用店舗の賃貸借契約を締結した。なお、家賃は月¥60,000とし、6か月経過したごとにまとめて受け取る契約である。 仕訳なし
8月31日	上記の家賃、6か月分(3月分～8月分)を現金で受け取った。 (借) 現金 360,000 (貸) 受取家賃 360,000
12月31日	決算にあたり、上記の家賃のうち未収分¥240,000を計上した。 (借) 未収家賃 240,000 (貸) 受取家賃 240,000

9 下の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。なお、入力する A の値は 2 以上の整数とする。

- (1) 入力された A の値が 30 のとき、※1 の処理を 1 回目に実行したあとの S の値を答えよ。
- (2) 入力された A の値が 45 のとき、※1 の処理を何回実行するか答えよ。
- (3) ループ2はどのような処理を行っているか説明せよ。

<流れ図>



(注)「%」は剰余を計算する演算子

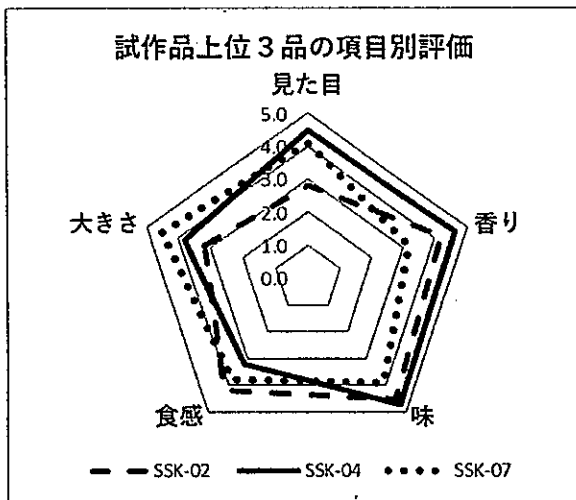
10 表計算ソフトウェアを利用して、図1を基に図2を作成する。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

図1

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	試作品評価表								
3									
4	試作番号	見た目	香り	味	食感	大きさ	総合評価	順位	備考
5	SSK-01	3.4	3.8	3.3	3.6	3.9	18.0	4	※
6	SSK-02	2.8	4.2	4.5	4.2	3.2	18.9	3	※
7	SSK-03	3.7	3.5	3.4	3.3	3.0	16.9	5	※
8	SSK-04	4.5	4.6	4.7	3.2	3.8	20.8	1	※
9	SSK-05	2.6	2.9	3.2	3.1	3.5	15.3	7	※
10	SSK-06	3.2	3.3	3.0	2.9	3.2	15.6	6	※
11	SSK-07	4.1	3.2	3.9	3.8	4.5	19.5	2	※
12	平均	3.5	3.6	3.7	3.4	3.6			
13	最高	4.5	4.6	4.7	4.2	4.5			
14	最低	2.6	2.9	3.0	2.9	3.0			

(注) ※印は、値の表記を省略している。

図2



- (1) 図1の「総合評価」は、「見た目」から「大きさ」までの合計を求める。セルG5に設定する式を答えよ。
- (2) 図1の「順位」は、「総合評価」を基準として、降順に順位を求める。セルH5に設定する式を答えよ。ただし、この式をセルH11までコピーするものとする。
- (3) 図1のセルI5に次の式が設定されているとき、セルI5に表示される値は○、△、×のいずれか答えよ。

$$=IF(G5>18,"○",IF(G5>16,"△","×"))$$
- (4) 図2のグラフの種類を答え、その特徴を説明せよ。

商 業 解 答 用 紙	2 枚 中 の 1	受 験 番 号	氏 名
-------------	-----------	---------	-----

(5年)

1	(1)	a		b		c		d	
	(2)								
	(3)								
2	(1)								
	(2)								
3	(1)		(2)		(3)		(4)		
4	(1)		(2)						
	(3)								
5	ア		イ		ウ		エ		
	オ		カ		キ		ク		
	ケ		コ		※ウ・エは順不同				
6	(1)			(2)					
	(3)	流動負債							
		固定負債							
	(4)	(企業名)	(理由)						

商 業 解 答 用 紙	2 枚 中 の 2	受 験 番 号		氏 名	
-------------	-----------	---------	--	-----	--

(5年)

7	(1)								
	(2)	ア		イ		ウ		エ	
	(3)	(借方)				(貸方)			
8	(1)	(借方)				(貸方)			
	(2)	ア		イ		ウ			
	(3)								
9	(1)		(2)						
	(3)								
10	(1)								
	(2)								
	(3)								
	(4)	(種類)		-----					
	(4)	(特徴)		-----					

以下はあくまでも解答の一例です。

商業 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(5年)
---------	-------	------	----	------

	(1)	a	見方 4点	b	実務 4点	c	科学的 4点	d	主体的 4点
1	(2)	商業科に属する科目で行う分析、考察、討論、企画の立案、産業界等への提案など様々な学習活動の中で、身に付けた知識、技術などを活用する機会を設ける。等 5点							
	(3)	ビジネスにおいて英語が広く活用されている一方で、ビジネスで求められる外国語が多様であることによるものであり、この趣旨を踏まえて、生徒の興味・関心、進路希望など生徒の実態及びビジネスにおける外国とのつながりなど地域の実態に応じて柔軟に取り扱うことができるようにしている。等 5点							
2	(1)	文章や発話により表現したりするなど言語に関する様々な能力は、学習の基盤となるものであるとともに、思考力・判断力・表現力等とはもとより知識及び技術、学びに向かう力、人間性等といった資質・能力を育成する上で重要となるものである。また、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要なものだからである。等 5点							
	(2)	インターネットを活用して入手した情報の信頼性、著作権の侵害の有無などを見極めること、様々な情報と組み合わせる多面的・多角的に分析した上で活用すること、入手した情報を活用するに当たって他者の権利を侵害しないことなどに留意させることが大切である。等 5点							
3	(1)	¥96,000 5点	(2)	¥121,600 5点	(3)	¥120 5点	(4)	¥202,000 5点	
4	(1)	買い手市場 5点	(2)	クーリングオフ制度 5点					
	(3)	早期採用者とは、新製品が一部のマニア向けから、一般大衆向けの商品へと脱皮していく成長期の前半において、単なる目新しさだけでなく、これまでの商品にはない新しい便益そのものに着眼するような消費者のことである。等 5点							
5	ア	分記法 4点	イ	3分法 4点	ウ	約束 4点	エ	為替 4点	
	オ	割引 4点	カ	AI (人工知能) 4点	キ	IoT (モノのインターネット) 4点	ク	メーラ 4点	
	ケ	BCC (ブラインドカーボンコピー) 4点	コ	ユニバーサルデザイン 4点	※ウ・エは順不同				
6	(1)	1,530,000 3点			(2)	207% 3点			
	(3)	流動負債	流動負債は、営業循環基準や1年基準により、短期間で支払期限や商品等の引き渡しの日などが到来する負債である。等 2点						
		固定負債	固定負債は、決算日の翌日から1年を超えて支払期限が到来する負債である。等 2点						
	(4)	(企業名)	(理由)						
D社 2点		4社の総資本利益率を比較すると、A社は3%、B社は4%、C社は5%、D社は6%であり、4社の中でD社は総資本利益率が最も高いため。等 2点							

商業 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
---------	-------	------	----

(5年)

7	(1)	同じ種類または異なる種類の製品を、連続して大量生産する製造業で用いられる原価計算である。等				4点																																				
	(2)	ア	3	3点	イ	80	3点	ウ	300	3点	エ	¥30	3点																													
	(3)	(借方)				(貸方)																																				
		製造間接費				20,000		減価償却費		20,000		3点																														
8	(1)	(借方)				(貸方)																																				
	現金		1,980,000		売買目的有価証券		1,800,000		有価証券売却益		180,000		4点																													
	(2)	ア	2,000	2点	イ	現金	2点	ウ	42,000	2点																																
8	(3)	<p style="text-align: center;">← 当期会計期間 →</p> <p style="text-align: center;">受取家賃の当期分(3~12月分) ¥600,000</p> <p style="text-align: center;">未収分(9~12月分) ¥240,000</p> <table border="1" style="margin: auto; width: 100%;"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">受け取った額(3~8月分) ¥360,000 6か月経過後に受け取る額(9~2月分) ¥360,000</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="text-align: center;"> <tr><th colspan="2">現金</th></tr> <tr><td>8/31</td><td>980,000 (受取家賃)</td></tr> </table> <table border="1" style="text-align: center;"> <tr><th colspan="2">受取家賃</th></tr> <tr><td>8/31</td><td>980,000 (現金)</td></tr> <tr><td>12/31</td><td>240,000 (未収家賃)</td></tr> </table> <table border="1" style="text-align: center;"> <tr><th colspan="2">未収家賃</th></tr> <tr><td>12/31</td><td>240,000 (受取家賃)</td></tr> </table> </div>												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	現金		8/31	980,000 (受取家賃)	受取家賃		8/31	980,000 (現金)	12/31	240,000 (未収家賃)	未収家賃		12/31	240,000 (受取家賃)	6点
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																												
	現金																																									
8/31	980,000 (受取家賃)																																									
受取家賃																																										
8/31	980,000 (現金)																																									
12/31	240,000 (未収家賃)																																									
未収家賃																																										
12/31	240,000 (受取家賃)																																									
9	(1)	2	5点	(2)	3回	5点																																				
	(3)	A の値を割り切れる 2 以上でかつ最小の整数を S の値として求めている。等					5点																																			
10	(1)	=SUM(B5:F5)					5点																																			
	(2)	=RANK(G5,G\$5:G\$11,0) 又は =RANK(G5,\$G\$5:\$G\$11,0)					5点																																			
	(3)	△	5点																																							
	(4)	(種類)	レーダーチャート				5点																																			
		(特徴)	複数の項目を放射状に配置し、それぞれの項目を評価した値を線で結んだグラフで、項目間の大きさの比較や、全体のバランスを見るのに適している。等				5点																																			